

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
鏡味治也・西本陽一		yoichi@staff.kanazawa-u.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
小林 大祐		金沢大学 文学部 人間学科 史学科 / 人間社会学域 人文学類 人間科学コース・フィールド文化学コース	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
文化人類学調査実習B(文化人類学調査実習II)	KNZa-140801-0	14人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査実習の準備、実施、報告書作成の過程では教員が指導するが、学生各人は地域調査の中で自らのテーマを見つけ、補充調査をおこないながら各自のテーマについて調査・分析を進めている。集中現地調査でも、後半には学生が2-4名のグループまたは個人で、住民世帯を訪ねてインタビューをおこなったほか、行事などへの参与観察および観察を実施した。学生による報告書は編集されて、総合的な地域調査報告書として刊行されるので、テーマに偏りがないよう調整する必要があるが、各学生とも選んだ特定のテーマについて積極的にデータ整理・分析をおこなっている。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

石川県珠洲市宝立町鶴島の総合社会調査

2. 調査の内容／概要：

石川県内の一地域を選んで30年以上実施してきた地域調査の継続。キーインフォマント面接に加えて、住民票などから連絡を取り、出来るだけ多くの世帯を訪問して、世帯主、他の成人成員または両者に面接をおこない、地域について全面的に調査する。その後、各参加者が個別テーマについて、追加調査にもとづいて報告書を作成、それらを総合的な調査報告書に編集して年度末に刊行する。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

石川県珠洲市宝立町鶴島を構成する7町内（宗玄、中鶴島、上稲荷、下稲荷、白山、上八幡、下八幡）の住民204世帯、554名が対象。対象者選定の理由は、本調査実習の対象人数として適当であること、鶴島が宝立町の中でも古くからまとまりをもった単位であったことである。対象者の確定は住民票、インフォマントリストなど区提供のデータおよび電話帳による。

4. 主な調査項目：

あらかじめ特定テーマを絞らずに、まず地区の生活の全体的な理解を目指し、その後に参加者の関心に従って、特定テーマの選定および調査をおこなってきた。主要な調査項目は、地域の概略、地区組織、生業（農業、漁業、製塩、酒造り、葉タバコ生産）、寺院、神社、祭り、結婚儀礼、葬儀、子供と学校教育、住宅利用の変化などである。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

区長や地区役員などのキーインフォマントに加えて、住民票、町会名簿、電話帳によって連絡を取り、出来るだけ多くの世帯を訪問して、世帯主、他の成人成員または両者に面接を行い、地域について全般的に調査した。行事などの際には参与観察および観察を行った。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2014年8月21日から同年8月28日までの8日間に、石川県珠洲市宝立町にて、引率教員2名と大学院生1名、学部学生13名によって本調査を実施した。その後学生がそれぞれの必要に応じて、日帰りまたは一泊で補充調査をおこなった。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

世帯別、年齢別、性別、地域別の住民データおよび行事などの特定活動への参加者のあり方などについては、統計やアンケートなどの量的調査を用いたが、実習調査全体は主にゆるやかに構成されたインタビューによる質的調査を基礎としている。訪問インタビューが出来たのは75人である（一部、鶴島地区以外の住民も含む）。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

住民票やセンサスデータは、エクセルなどを用いながら、統計的に処理・分析した。個別のデータについては、キーインフォマントおよび一般住民への聞き取りが基礎になっているので、丹念に集めた具体的な事例データを情報カードとして集積し、分析・解釈を行った。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

対象地区は、能登の他の地区と同様に、高齢化と過疎化の傾向が高い。少子高齢化と若年層の都市への移動は、地域住民の暮らしに大きな影響を与えている。児童数の減少も顕著で学校の統廃合がおこなわれている。対象の7町内はかつては農業や漁業を主要生業としてきたが、同時に江戸時代より酒造りが盛んで多くの「能登杜氏」を輩出している。近年では勤め人が多くなっている。結婚や葬儀のやり方や住宅の利用の仕方などにも、高度経済成長期を経て変化が見られる。

10. 報告書刊行の予定と概要：

調査実習報告書『珠洲市宝立町鶴島』（B5版、132ページ）を2015年3月31日に刊行予定。